

9 章 問題

以下の文章のカッコ内に正しく当てはまる語句を記入してください。

1. DCCT 研究は良好な血糖コントロールにより(Q1)を抑制することを示した初めての
大規模臨床試験である。この研究では(Q2)型糖尿病を強化療法群と従来療法群に分け
(Q1)の累積発症率を比較検討した。また、この研究によって血糖コントロールの指標
としての(Q3)の有用性が明らかになった。
2. UKPDS 研究では(Q4)型糖尿病の発症早期の血糖コントロールによる合併症抑制効果
を初めて示した研究である。
3. (Q5) study は血糖コントロールによる 2 型糖尿病患者の合併症抑制効果を証明した本
邦の研究である。この研究により、HbA1c 6.9 未満、空腹時血糖 110mg/dl 未満、食後
2 時間血糖 180mg/dl 未満を保つことが(Q1)を阻止するために有効であることが示さ
れた。
4. ACCORD 試験は血糖を厳格に管理することによって、大血管症を抑制しうるかどうか
を検証するために米国で行われた大規模臨床試験である。従来療法群に比べ、強化療
法群で(Q6)のリスクが22%増加したために、試験開始3.5年で試験は中止となった。
5. DPP-4阻害薬を用いた大規模臨床試験ではすべての試験で、(Q7)というエンドポイ
ントの対照群に対する非劣性が示されたが、優越性を示したものはない。
6. エンパグリフロジンをを用いたEMPA-REG、カナリグリフロジンをを用いたCANVAS、ダ
パグリフロジンをを用いたDECLAREにより(Q8)阻害薬に心臓や腎臓の保護作用が証
明された。
7. 糖尿病治療の目標は、良好な血糖コントロールを長期間にわたって維持し、さらに体
重、血圧、脂質のコントロール、禁煙をすることによって、血管合併症の発症、進展
を阻止し、糖尿病のない人と変わらない寿命と(Q9)を確保することである。このため
には高齢化などで増加する併存症の予防、管理と(Q10)、社会的不利益や差別の除去
も重要である。
8. 血糖コントロール目標は、合併症や(Q11)など病態に応じて個々に設定する必要があ
る。高齢者や妊婦を除く成人では、血糖正常化を目指す際の目標、合併症予防のため
の目標、治療強化が困難な際の目標がそれぞれHbA1cで6%未満、(Q12)%未満、8%
未満となっている。
9. 高齢者糖尿病の血糖コントロール目標では、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポ
ート体制などに加え、認知機能や基本的、手段的(Q13)、併存疾患なども考慮して個
別に設定する。加齢に伴って(Q14)の危険性が高くなることに十分注意する。
10. 75歳以上の高齢者等を除き、一般に糖尿病患者の血圧のコントロール目標は診察室血
圧で、収縮期血圧(Q15)mmHg未満、拡張期血圧80mmHg未満である。
11. 糖尿病患者の心血管イベントの1次予防のための脂質のコントロール目標はLDL-C

<120mg/dl、Non HDL-C <150 mg/dl、TG <150 mg/dl、HDL-C $\geq$ 40 mg/dlだが、PAD、細小血管合併症、喫煙のある場合はLDL-C < (Q16)mg/dl、Non HDL-C <130 mg/dlを目指してもよい。

12. 糖尿病の治療開始時に、口渇、多飲、多尿などの症状があり、特に血糖300mg/dl以上、(Q17)強陽性があればインスリン依存状態が疑われ、治療を開始しつつ速やかに専門医へ紹介する。
13. インスリン療法の絶対適応には1型糖尿病などインスリン依存状態、糖尿病昏睡、重度の肝腎機能障害、重症感染症や全身麻酔の必要な手術、糖尿病合併(Q18)があげられる。
14. インスリン治療法の一つである(Q19)療法は、インスリン頻回注射、またはCSIIに自己血糖測定を併用し、インスリン注射量を、医師の指示に従い、患者自らが調節しながら可能な限り良好な血糖コントロールを目指すものを指す。